

# 平和運動フォーラム石狩地域協議会通信

平和運動フォーラム  
石狩地域協議会

〒060-0806  
札幌市北区北6西7

村上 真仁

TEL:011-747-1880

## フルMOX燃料

### 危険度、計り知れぬ

11月3日(土)、北海道平和運動フォーラムは函館市千代台公園で「やめるべ、大間原発! 11・3北海道集会」を開催、全道各地から約1400名が参加し、寒風が吹きすさぶ中、対岸に向けて熱いメッセージを發した。

### 国の『お墨付き』で建設再開

政府は2030年再稼働、核燃料サイクル継続など極めてはしないことを決定しつつ、当面は原発



強烈な寒風の中、それぞれに工夫したプラカードなどを作成して「ストップ!大間原発」を訴える参加者

経済産業省大臣から青森県に対し、「許可継続」が伝えられ、電源開発は「お墨付き」をもらったがごく建設が再開されている。

主催者あいさつで、北海道平和運動フォーラムの中村誠吾代表は、「大間原発は、世界に例のないプルトニウムをフルMOX燃料として使うことにより、通常の原

発よりはるかに安全余裕を縮める危険な原発だ。使用済みMOX燃料の行方が決まらないまま進められる建設工事再開は、まさに見切り発車であり強く抗議する。対岸でわずか23kmし



か離れていない。フクシマの惨劇を、再び北の大地で繰り返してはならない。原子力政策の根本的転換を求めるとともに、大間原発の建設中止を強く求めていく」と述べた。

### 幌延からも「怒り」の訴え

最終処分場設置に反対する「11・23幌延デー集会」が11月23日、幌延町で開催され、900名が参加した。国は北海道を含む複数自治体に対して、処分場確保に向けた「文献調査」を申し入れようとしている。

### 半世紀の運動、あらたな視点で

上関原発建設や米軍岩国基地に対して長年取り組みを続けてきた山口県山口市で、

「『生命の尊厳』をもとに、原発も基地もない平和な社会へ憲法理念の実現をめざす第49回大会(護憲大会)」

が、維新百年記念公園内の県スポーツ文化センターアリーナをメイン会場として11月9日〜11日の期間で開催さ



大会を総括する藤本実行委員会事務局長

大会は憲法9条を生かして平和を築くとした基調提起の後、シンポジウムや分科会での参加者が議論を深めた。

最終日は600名が参加、特別提起の後「大会のまとめ」を藤本事務局長が総括、議論の詳細に触れるとともに、「次回は50回の節目。49回の大会の歴史と今をしっかりと総括することが求められている。半世紀にわたって私たちはどうか関わってきたのか、そこからの出発がどうあるべきか。脱原発のあり方ととりくみは大きくスタイルを

### ○事務局だより○

政治が動こうとしていません。「何もしなければ決して変わらない」ことは明らかです。「命」を取るのか「経済」をとるのか?困難はあっても「脱原発」をしっかり実現していく人物を見極めたいものです。

(む)